



# 飯能ロータリークラブ会報



唐竹晩秋 Karatake in late autumn

© photo by Isao Yoshida

## ロータリー：変化をもたらす

RI会長 イアンH.S.ライズリー

2570地区ガバナー 細井保雄

第3グループ  
ガバナー補佐 木川一男

### 「RI戦略計画を皆で一緒に実行しよう!!」

## 第2773例会 2017. 10. 11

——経済と地域社会の発展月間——

天候 曇 (NO. 54-15)

会長 和泉由起夫 幹事 土屋良一

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 坂本君、田辺君

例会場：ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎(042)975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局：飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)974-3111(代) FAX(042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/

E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 和泉会長
- ・ソング 我等の生業
- ・卓話 町田真一様 青山一喜様

### 【会長報告】

10/24世界ポリオデーには日本でも約100のRCが催しをします。飯能でも11月、情宣、ポリオプラスの活動を実施します。地区よりユニフォームをお借りしますのでお手伝いの人数を出して頂きますようよろしくお願い致します。

### 【幹事報告】

ガバナー月信に公式訪問と島田、市川会員の米山、財団表彰が掲載。配付した公式訪問の写真は、坂本会員のご好意で大判にプリントして頂きました。有難うございました。

### 【委員会報告】

◎はんのう路地グルメ 吉田(行)君、加藤君

10/13~15 商工会議所が毎年実施している「路地グルメ」は青年部から始まり、7回目。3枚綴りの食券を2千円で販売します。10/29まで「アトノリ」で金券として使えます。お買い求めようよろしくお願い致します。

◎西川材フェア 本橋君

11/12第16回「西川材フェア」は「はんのう生活祭」と同時開催。模擬上棟式、おがくず宝探し等、ご参加ようよろしくお願い致します。

【出席報告】無届欠席0 馬場出席向上委員

会員数		当日		前々回修正 出席率
全数	対象	出席数	出席率	
57名	6名	50名	87.72%	定款特例による例会 取消のため変更なし



### 【M U】

10/10(狭山中央)

木川君

### ◎金婚式おめでとう

大附富義会員

山川荘太郎会員

### 【結婚・誕生日祝】

本橋親睦活動委員

◇入会記念日おめでとう

神田(敬)君、前島君

◇結婚記念日おめでとう

神田(敬)君、小谷野君、吉澤君、大附君、馬場君

平沼君、神田(康)君、山川君、半田君、間邊君

◇会員誕生日おめでとう

2 藤原君、21 中里(忠)君、町田君、23 市川(昭)君

◇夫人誕生日おめでとう

3 奥富夫人、中里(光)夫人、6 大木夫人

7 島田夫人、26 間邊夫人、30 町田夫人

### 【SAA報告】

◎ニコニコBOX

・結婚して60年になります。忘れていました。平沼君

・金婚式のお祝い有難うございました。大附君、山川君

・町田様、青山様、本日卓話ようよろしくお願い致します。間邊君

・結婚記念日お祝い有難うございます。間邊君

神田(康)君、小谷野君、馬場君、神田(敬)君、吉澤君

・妻の誕生日お祝い有難うございました。

島田君、間邊君、奥富君、中里(光)君、町田君

・入会記念日お祝い有難うございます。

山川君、前島君

・誕生日お祝い有難うございます。中里(忠)君、町田君

・早退 杉田君

本日計109,000円、累計額321,001円。

◎18日例会当番は高橋、田中会員です。

## 地震災害について

飯能市役所危機管理室長 町田真一様

危機管理主幹 青山一喜(もとき)様

町田様：日頃より防災行政、消防団等さまざまご支援ご協力を頂き篤く御礼申し上げます。

青山様：[プロジェクター併用]

1)地震のメカニズム：地震の発生原因を知るには地球の構造を知る必要があります。半径約6400km。中心から核、マントル、地殻という構成。外側の地殻はパズルのピースのように地球全体を覆っている。ピースの事を「プレート」と呼び、厚さは平均30～40km。プレートには地下から湧き上がってくる領域と逆に沈み込む領域があり、それぞれ別々の向きに年に数センチゆっくり動いています。違う方向に動いているため、隣り合うプレート間には確実に摩擦や衝突が生じ、それが圧力となってプレート内に歪みが蓄積されます。この歪みが限界を超え、岩盤の破壊が生じるのが「地震」。破壊で発生した振動が地表面に伝わって我々は地震の発生を知る事となります。日本周辺では4枚のプレートが互いに影響しながら運動しています。地震をプロットした図にプレートを重ねると、プレート境界付近で地震が多発している事が分かります。日本には地震の起こらない所はほとんどありません。「地震は必ず起こる」との前提に立ち、上手に付き合っていく必要があります。北米プレート、ユーラシアプレート、太平洋プレート、フィリピン海プレートが押し寄せる日本列島は常に強い圧力が掛かるため、世界有数の地震多発国となっており、地球の表面積の0.2%の日本周辺で、世界の地震の約10%、M(マグニチュード)6以上では約20%が発生しています。

地震には「海溝型地震」と「直下型地震」とがあり、海溝型は海のプレートが海溝で沈み込む時に陸のプレートの隅が巻き込まれ、やがて反発して跳ね上がり、東日本大震災のようなM8クラスの巨大地震を起こします。直下型は、活断層等の地盤が破壊されて起こります。規模は小さく、被害範囲は20～30km程度。しかし震源が浅い場合には大きな被害をもたらします(阪神淡路大震災、新潟中越地震、熊本地震等)。「震源の深さ」とは破壊現象がどれだけの深さで起こったのかを示すもの、Mは地震そのものの規模を表す単位、「震度」はその破壊現象によってどれだけ地面が揺れたかを表す単位です。M7以上が「大地震」、M8以上を「巨大地震」と呼ぶ事があります。地震のエネルギーと関係した量「M」が1大きくなるとエネルギーは約32倍、2大きくなると約1000倍。震源の深さにもよりますが、M3を超えると有感地震となる事が多いようです。「震度5強」以上からは大きな被害が発生。気象庁等の震度計は飯能市役所、名栗地区行政センター、浄化センター、荻生地内の、市内4か所に設置されています。

地震による被害ですが、建物倒壊は東日本大震災で全壊約13万棟、阪神淡路大震災で約5万棟、熊本地震で約9000棟。阪神淡路大震災では585件の火災が発生。ブロック塀の倒壊で路地が塞がれたり、土、砂、水、空気が均一に混ざり安定していた地盤が大きな揺れで分離して、地盤が水に浮いたような状態になる液状化も発生。飯能市では液状化の心配はありません。海岸沿いでは津波。高台に避難する必要があります。山間部では土砂災害による河道閉塞が発生、「天然ダム」で家屋が浸水。公共交通機関の運行停止。東日本大震災では515万人の



帰宅困難者が発生。ピーク時には約40万人が小中学校の体育館等で避難所生活を余儀なくされました。

2) 埼玉県で地震は起こるのか：災害が少ないと言われる埼玉県ですが1923年「関東大震災」で県南東部、1931年「西埼玉地震」で県北部が被災。南関東エリアでは約200～300年に1度、M8クラスの

地震が起こっています。「関東大震災」前が1703年の「元禄関東地震」。同様の間隔だとまだ先ですが、M7クラスの地震は何度か起こっており、警戒が必要です。文科省地震調査研究推進本部地震調査委員会によると南関東でM7の地震が発生する確率は今後10年で30%、30年で70%、50年で90%。地震を引き起こすと考えられる活断層は県内10本。地表に出て来ないと確認出来ないため発見されていないものもある可能性がある。H19年「新潟中越沖地震」は未発見の活断層が動いて起きました。近くに活断層が無くても油断しない事が大切です。

立川断層帯で地震が発生した場合、飯能市では市街地を中心に震度6弱～5強、県の被害想定で死者6名、避難者608名(県HP参照)。最新研究で名栗断層は「断層活動を示す地形、地質学的な証拠を見い出せない」との結果。東日本大震災では他地域より揺れが少なく酒屋の瓶が他と比べて落ちなかった、美杉台の造成工事では地盤が固かった等の話がありますが、100%安全な土地はありません。

3) 飯能市の地震災害対策：各地域の自主防災組織により地域の実情を考慮しながら年1回の防災訓練の実施を呼びかけております。H28年度、参加人数3,320人。訓練内容は、要援護者の安否確認を含む避難訓練、避難所立ち上げ訓練、炊き出し訓練、心肺蘇生法等。自主防災組織に対しては、防災資機材の購入や防災訓練実施に対する補助金交付、出前講座、リーダー研修の実施と、地域の防災力が高まるよう支援しています。避難所となる全小中学校に防災備蓄倉庫を整備、アルファ米等の備蓄をしていますが、市民の皆様には最低3日間、自活出来るように呼びかけをしています。

熊本地震を契機に、生活用水確保の手段の1つとして「災害時協力井戸」の登録をお願いしました。位置は市HPで確認出来ます。「災害時要援護者避難支援プラン」推進のため、自力避難が難しい方のリストへの登録を進めています。茨城県高萩市、所沢・入間・狭山・日高と協定を結び、大規模災害時は生活必需品・資機材のほか、職員の応援派遣をする事となっております。民間事業者とも救援物資提供等の協定を結んでおります。熊本地震では、飲料水を送り、被災建築物応急危険度判定士2名、罹災証明発行にかかわる家屋被害認定調査業務担当者1名の計3名を被災地に派遣しました。



10月12日 親睦ゴルフ

飯能グリーンカントリークラブ